

蔵王の森だより

マンスリータイムズ 平成20年7月
和歌山県立和歌山西高等学校

クリーン運動 6月24日(火)



毎月末、または考査前などに大掃除を行っているが、この日は、校舎以外に通学路まで拡大して清掃活動を行った。生徒たちが日々、通る通学路、各クラスの整備委員は熱心に通学路のゴミや落ち葉を拾い集めた。

〔通学路の清掃〕

就職模擬面接 6月24日(火)～27日(金)



3年次生徒を対象に、進路指導部、3年学年団職員が手分けをして、模擬面接を行った。生徒一人一人に面接の心構え、身だしなみ、言葉づかい、質問に対する回答内容など細部に渡る指導がなされた。しかし、1回の指導を受けただけでは、なかなか身に付かないことも沢山あり、今後も3年学年団、進路指導部が連携をとりあって、粘り強い指導を心掛けていかなければならない。

〔模擬面接の様子〕

生徒会役員改選 6月27日(金) 生徒総会 7月4日(金)



〔生徒総会の様子〕

平成20年度後期(任期7月1日から12月31日)の生徒会役員が決定した。新生徒会長に岩橋法季君(3年)、副会長は廣瀬浩一君(3年)と堀本開土君(3年)の3名が中心となり運営していくことになる。3人とも前期も生徒会執行部であった生徒たちで、後期も更なる活躍が期待される。7月に入って早速、新旧執行部共同で生徒総会が開催され、学校に対し、各クラスから出された要望について検討し、生徒会執行部でどの内容について学校に働きかけていくかを決めた。

第90回全国高校野球選手権和歌山大会 7月11日(金)



〔8回にツーベースヒットを打った堀部〕

今年の特対戦相手は紀央館高校。野球部の生徒達は、日々遅くまで練習に努め、また、生徒会の募集により集まった応援団員達も一からの練習に励み、この日を迎えることとなった。毎年のことながら、選手、応援団、保護者、職員が一つになれる感動的な日である。



〔応援の寄せ書き 旗を持つのは野球部マネージャー 前田〕

試合の結果は、和西の健闘むなしく9対1で紀央館高校の勝利で幕を閉じた。試合後、悔しさの涙を流す選手達であったが、応援団達が選手達の健闘を讃え、また選手達もそれに感謝の心で答える姿には、誰もが感動するところであった。勝利することでしか得られないものもある、しかし、敗北に涙することにより初めて得られるものもあるはずである。それは、生徒一人一人違うものもあれば、共通するものもあるだろう。この日、生徒たちは友情というものを共通に感じていたのではないだろうか。この日をきっかけに、更に生徒たちの友情が深まったことと確信する。



〔西高応援団の熱い応援〕



〔投手リレー



左 杉岡、中央 筒井、



右 川崎〕